

目的を表す“为了VP”について

伊藤加奈子

0. 目的とは「行動する目標として考えられた、そうしたい何事か（なりたい何物か）」（三省堂新明解国語辞典第4版）と日本語ではこのように定義されている。定義の仕方とはかくとして、少なくともここから私達が「目的」というものをどのように認識しているかを伺い知ることができるだろう。「目標とされる」「そうしたい、なりたい」ということより、目的とは「未来を指向するもの、それを抱く人が望むもの」ということができそうである。そしてこの認識は何も日本人に特有なものではなく、人間全体に共通する見方であろうと思う。ここで私は、中国語における目的に対する認識とその言語に見られる原映について調べてみたい。

中国語において目的を表す表現の一つに“为（了）…”がある（“了”がない例文も取り上げるが統一して“为了”と以下表記する）。“为了”の後は名詞が続く場合と、動詞若しくは主述がそろった文形式が続く場合があるが、ここでは後者について調べるつもりであり、その内容はどのような動詞、文でも構わないというわけではなく、何らかの特徴があると予想される。以下様々な例文を挙げつつ、気になった事柄を書き留めておきたい。

1. “为了VP”のかたち

目的を表す“为了VP”のVP部分は様々な形をとる。例を挙げつつ見て行こう。

- 为革命不怕吃苦。
- 为了实现四个现代化，贡献自己的力量。
- 为了了解中国的建设情况，我们常常到工厂去参观。

これらの例は“为了”の後に動詞、または動詞+目的語の形をもつ例である。上に挙げた例は“为了”フレーズの典型的例であるが、この形において中の動詞にはどのような特徴があるか次節以下で探るつもりである。

- 为了让我上学深造，姐姐高中毕业就工作了。
- 为了使试验顺利地进行，必须先把仪器准备好。
- 为了让他听见，我故意大声说。

“为了”フレーズに使役構文（让/使+NP+VP）が入っている例で、これらもよく見られた例である。

- 为了学好中文，他每天听中文广播。

目的を表す“为了 VP”について

- 为了把教科书编好，他请教了许多人。
- 为了治好儿子的病，她花了很多钱。

これらは“为了”フレーズ内に補語が用いられている例である。

- 为了大家方便，他这样做。

“方便”は参考書においては形容詞と説明されることが多いのだが、この例は“为了方便大家，～”のように“方便”が目的語をとる形になっても、意味的には上の文と等価である。他にも形容詞とされている“慎重”が“为了”フレーズに入ることもあるが、このような例はどのように理解したらよいか、また他の形容詞ではどのようになるのかなどの疑問を抱かさせる。

以上様々な形があるが、スペースの関係上、はじめに挙げた“为了+動詞+目的語”を中心に、一部使役構文や補語をからめつつ見ていきたい。また“为了”フレーズ内の動詞の主語とその後に続く文の主語が一致しないものも存在する。

- 为了孩子们健康成长，老师们付出了辛勤的劳动。
- 为了职工能安心工作，机关办起了托儿所。

本稿では論述の便のため、“为了”フレーズ内の動詞の主語とその後の文の主語が一致するものにその検討対象を限る。

2. 一般動詞

見出しを「一般動詞」とつけたが、特に一般動詞とは何物であるかを突き詰めて定義したわけではなく、この言葉は後に出てくる他の様々な動詞と区別をつける程度のもので受け止めていただきたい。

- 1) 为实现四个现代化贡献自己的力量。
- 2) 为避免差错，最好再检查一遍。
- 3) 为了争取更大的胜利，我们要团结奋斗。
- 4) 为了了解中国的建设情况，我们常常到工厂去参观。

以上「4つの現代化を実現するために～」「中国の建設状況を知るために～」など、これらは実際に参考文献から引用したものだが、“为了”の使われる典型的な例である。これに対して、

- 5) 为了说汉语，我下了很多工夫。
- 6) 为了看书，我每天都不看电视。

5) 6) は筆者による作例であり、インフォーマントに尋ねたところ、成立するが“说汉语，看书”を目的とするために“为了”を使うのはややおおげさであるという感想を得た。1)～4)と5) 6) を比べてみると、5) 6) の“为了”の後の動詞は人間のする行為のなかでも特に基本的で具体的なものを、1)～4)のそれに比べると表しているようである。勿論1)～4)と5) 6) タイプの線引きの問題や、5) 6) タイプのものでも目的語により抽

象的な意味が生じ得る問題もあるが、とりあえずこの6例より気になったことを書き留めておく。後に触れることだが、“为了”の後にくることのできる能願動詞はほとんど“能”のみであるという現象があり、1)~6)の“为了”の後の動詞を“能”と組み合わせてみる。

- 1)' 为能实现四个现代化贡献自己的力量。
- 2)' 为能避免差错, 最好再检查一下。
- 3)' 为了能争取更大的胜利, 我们要团结奋斗。
- 4)' 为了能了解中国的建设情况, 我们常常到工厂去参观。
- 5)' △为了能说汉语, 我每天努力学习。
为了能说好汉语, 我每天努力学习。
- 6)' △为了能看书, 我学了读书写字。
为了能看(得)懂书, 我学了读书写字。

1)~4)'では“能”を加えても大きな違いはないが、5)'6)'ではやや違いが生じる。“为了”フレーズの後に続くものも少し変えてみたが、特に違うのは△マークを付した“能”の後に直接“说, 看”が来る例で、意味は通じるかもしれないが、むしろその下の文のように結果補語などをつけるのがより自然である。また補語に限らず、

7) 为了能专心看书, 他每天到图书馆去。
のように副詞がはいることもあるが、いずれにしてもこのようなことは1)~4)には特に必要ないとのことであり興味深いところである。

3. 心理・感情動詞

動詞の中には人間の心理, 感情を表すものがある。この種のものが“为了”の後に続く場合を考えてみよう。

- 8) 为了爱她, 我不惜任何代价。

この文は成立するが、より分かりやすくするのなら、“为了爱上她, 我不惜任何代价。”のように「ある種の到達を示す」結果補語“上”を動詞の後につけるとよいのである。これは結果補語付加による、あるべき目標の設定と言える。また“让我自己”を使った使役構文でも近い意味内容になる。

- 8)' 为了让我自己爱她, 我不惜任何代价。

しかし能願動詞“能”を“爱”の前に置くと非常に成立しにくくなる。

- 8)" ??为了能爱她, 我不惜任何代价。

では同じように“讨厌”の例を見てみよう。

- 9) 为了讨厌他, 我尽量看他的使人讨厌的地方。

- 9)' 为了让我自己讨厌他, 我尽量看他的使人讨厌的地方。<“让”フレーズ挿入>

- 9)" ??为了能讨厌他, 我尽量看他的使人讨厌的地方。<“能”付加>

目的を表す“为了 VP”について

“爱”と同じく“能”がはいると成立しにくい。

次に“喜欢, 相信, 觉得”の例を同様に見てみよう。

10) ??为了喜欢数学, 我特地跑到一个教数学很有名的学校去学习。

10)' 为了让我自己喜欢数学, 我特地跑到一个教数学很有名的学校去学习。

10)" ??为了能喜欢数学, 我特地跑到一个教数学很有名的学校去学习。

11) ?为了相信他的话, 我尽量不去追求他的话。

11)' 为了让我自己相信他的话, 我尽量不去追求他的话。

11)" ??为了能相信他的话, 我尽量不去追求他的话。

12) *为了觉得对不起他, 我重新回想了一下我的所做所为。

12)' 为了让我自己觉得对不起他, 我重新回想了一下我的所做所为。

12)" *为了能觉得对不起他, 我重新回想了一下我的所做所为。

10) は結果補語“上”を用いて“为了喜欢上数学, ~”のようにすると成立する。10)

11) 12) では“爱, 讨厌”と違い, “为了”の後に直接“喜欢, 相信, 觉得”が続くと成立しにくいか, もしくは成立しない。このことは同じ心理・感情動詞であっても含まれる状態の大きさの違いによるものかもしれない。表として示せば,

状态度小 ←————→ 状态度大		
爱・讨厌	喜欢・相信	觉得
“为了~” 成立	“为了~” 成立しにくい	“为了~” 非成立

のようになる。8) の“爱”, 9) の“讨厌”に副詞“很”を加えると“为了”フレーズが目的を表すものとしては非文となる。

13) *为了很爱她, 我不惜任何代价。

14) *为了很讨厌他, 我尽量看他的使人讨厌的地方。

“爱”から“觉得”まで共通していることに, 能願動詞“能”の後に続かないことがある。この現象は“为了”フレーズ内のみ限定されるものではないと思われるが, 心理・感情動詞と呼ばれるものがすべて同じようなふるまいをするかどうかまではわからない。

1.1 で挙げた 4) の“了解”も李臨定 1990《现代汉语动词》にもこの種の動詞として取り上げられているが, “为了能了解~”は成立することから, 同類として扱ってよいか問題になるところである。

4. “是, 像, 有, 在”

今まで見てきた例は動作行為や心理感情を表す動詞についてであったが, それらとは趣を異にする標記の動詞について少し見てみたい。

“是”については興味深い現象がある。例えば「三好学生」であるために, 彼は毎日

まじめに勉強した。」は、

15) △为了是三好学生，他每天认真学习。

15)' 为了能是三好学生，他每天认真学习。

のように訳せる。この場合“学生”に“三好”という限定成分がついている。では限定成分がない場合はどうなるのだろうか。

16) *为了是学生，他每天认真学习。

16)' *为了能是学生，他每天认真学习。

「学生である」ことは、それを目的とするのにはレベルの低いものであるため成立せず，“三好”といった限定成分がつくことによって目的とするのにふさわしいレベルになり、容認可能性はるかに増すため、上記のような対比が生じると思われる。同じような例を以下挙げておく。

17) △为了是模范工人，他每天进行科学研究。

17)' 为了能是模范工人，他每天进行科学研究。

18) *为了是工人，他每天进行科学研究。

18)' *为了能是工人，他每天进行科学研究。

19) △为了是先进单位，我们厂在不断努力。

19)' 为了能是先进单位，我们厂在不断努力。

20) *为了是单位，我们厂在不断努力。

20)' *为了能是单位，我们厂在不断努力。

次に“像，有，在”の例を見てみよう。

21) *为了像父亲，孩子是无意识地观察父亲的举动的。

22) *为了有进步，我们努力练习。

23) *为了在家，我决定不出去了。

“为了”の後に“像，有，在”が直接続く例はいずれも成立しない。しかしそれらの動詞に能願動詞“能”がつくと成立する。

21)' △为了能像父亲，孩子是无意识地观察父亲的举动的。

→为了模仿父亲，孩子是无意识地观察父亲的举动的。

22)' 为了能有进步，我们努力练习。

23)' (因为要照顾孩子) 为了能在家，我决定不出去了。

21) では“能像”も成立するが、普通には“模仿”を使って表すという。23) では前提なしの“为了能在家，～”は言いにくいことから括弧を使って前提を添えておいた。もちろん“*(因为要照顾孩子) 为了在家，我决定不出去了。”のように前提を添えても“能”がなければ成立しない。22) の“有进步”は“有”が「具体的にモノがある」というより抽象的な使用をされている例であるため、具体的なものの存在を表す例も調べる必要があるだろう。ともあれ以上の例から“是，像，有，在”はそのままでは成立しないが、

目的を表す“为了 VP”について

“能”と結び付けば“为了”フレーズをつくることができるという点が看取できるだろう。

5. 能願動詞

能願動詞は大きく分けて「願望」を表すものと「可能性」を表すものの二つがあるが、まず前者が“为了”フレーズ内に入る場合についてみてみよう。例えば、「早く休むために、彼は学校が終わるとすぐに帰った」は、

24) 为了早点儿休息，他下了课马上回家去。

と訳すことができる。この“为了”フレーズに“要”を付加すると、

24)' 为了要早点儿休息，他下了课马上回家去。

のようになる。24)' は成立し 24) と意味的には大きな違いはなく、“为了”フレーズ内の願望の能願動詞“要”はあってもなくてもよい。ただこの例は、

25) 因为要早点儿休息，他下了课马上回家去。

としても理解できるという。しかし 25) “因为”フレーズは原因を表すものであり、またこの場合“要”は省略できない。他の例もみてみよう。

26) 为了承担这项工作，他找了领导十次。

26)' 为了想(要, 打算, 准备) 承担这项工作，他找了领导十次。

27) 因为想(要, 打算, 准备) 承担这项工作，他找了领导十次。

28) 为了学习汉语，他买了一本汉语词典。

28)' 为了要(想, 打算, 准备) 学习汉语，他买了一本汉语词典。

29) 因为要(想, 打算, 准备) 学习汉语，他买了一本汉语词典。

26)' 以下の括弧内の願望の能願動詞や願望を表すその他の動詞は、それぞれ置き換えが可能である。そして 24)' と同じく 26)' 28)' のアンダーライン部分は省略可能であり、25) と同じく 27) 29) では省略不可能である。ここで判断に悩むのは 24)' 26)' 28)' の例である。“为了”フレーズを目的を表すとすれば、目的は未来を指向するものだからそれは未実現であるはずである。しかし 24)' でいうならば“还没休息”は正しいが“还没要休息”ではなく、この“要”で表す願望の態度は既に実現済みである。同様のことが 26)' 28)' にもいえる。

それでは 24)' 26)' 28)' の“为了”フレーズはどのように解釈すればよいだろうか。インフォーマントチェックではやはりこれは目的を表しているという答えだった。これは恐らく目的の「そうしたい、なりたいと望む」という性格と、“要、想”といった語の表す願望の態度とが一致するため、願望表現の語が“为了”フレーズにあってもなくても大きな意味の違いは引き起こさず、目的を表すと解釈することができるのであろう。一方、願望の態度が実現していることにより、その願望が何らかの行為を引き起こす原因となっていると解釈すれば、“因为”フレーズとなり表現されるのであろう。この場

合、願望表現の語は省略できない。

願望表現の語として能願動詞“要，想”，動詞“打算，准备”を挙げて来たが，すべての願望表現の語が“为了”フレーズ内に入り得るわけではない。

30) *为了愿意学习汉语，他买了一本汉语词典。

31) *为了希望学习汉语，他买了一本汉语词典。

“愿意”も“希望”も願望を表す語であろうが，この場合は成立しない。恐らく目的の持つ性格と“愿意，希望”の性格が一致せず，“要，想”などとは異なる結果を生んでいると思われる。

「可能性」を表すものについては，今まで見られたように“能”は“为了”の後に使われる。しかし“能”以外の能願動詞は実際の例では存在しない。例えば，

32) ??为了会说汉语，我每天努力学习。〈“会”付加〉

のように“会”は使えない。このような面からの“能，会”の違いも興味深いものがある。また“能”の後に続くVPにも第3節で述べたようにある種の制限があるかもしれない，より細かい分析が必要となるだろう。

〈付記〉

本稿の執筆にあたり，お茶の水女子大学相原茂先生ならびにインフォーマントとして楊達氏，呉志剛氏に多くのご意見ご助言をいただいた。特に記して感謝の意を表したい。

〈参考文献〉

- 《現代漢語八百詞》呂叔湘 1980 商務印書館
《漢語動詞概述》範曉 杜高印 陳光磊 1987 上海教育出版社
《現代漢語動詞》李臨定 1990 中国社会科学出版社
《現代漢語虛詞用法小詞典》王自強 1984 上海辭書出版社
《漢語常用動詞搭配詞典》王硯農 焦龍頤 1984 外語教學與研究出版社
《動詞用法詞典》孟琮 鄭懷德 孟慶海 蔡文蘭 1987 上海辭書出版社
《新編漢語多功能詞典》馮志純 周行健 1989 國際文化出版公司